

平成 2 8 年度決算

普通会計決算認定特別委員会資料

徳島県警察本部

目 次

I	平成28年度警察本部主要施策の成果の概要	1
II	主要事業の内容及び成果	3
III	歳入歳出決算額	4
1	一般会計決算額	4
	(1) 歳入決算額	4
	(2) 歳出決算額	4

I 平成28年度警察本部主要施策の成果の概要

第1 身近な犯罪の徹底抑止

平成28年中の刑法犯認知件数は、3,953件と戦後初めて4,000件を下回り、過去最多であった平成15年の約3割まで減少した。

ストーカーやDV等の人身安全関連事案に対しては、関係法令を的確に適用するなどして、被害者等の安全確保を最優先に先制的な対処に努めた。

また、振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺に対しては、高齢者を対象としたコールセンター事業やフェイスブック等ソーシャル・ネットワーキング・サービスを利用した情報発信、金融機関、タクシー協会等と連携した水際対策を推進したほか、「だまされた振り作戦」等を展開し、過去最多となる32件22人を検挙し、県民の安全安心の確保に努めた。

第2 重要犯罪等の徹底検挙

平成28年中、殺人、強盗等の重要犯罪は、認知件数42件、検挙件数41件、検挙率97.6%であり、空き巣などの重要窃盗犯は、認知件数361件、検挙件数335件、検挙率92.8%と、それぞれ高水準の結果を得た。

知能犯事犯では、破産法違反事件などを検挙したほか、暴力団対策では、六代目山口組の分裂以降、「対立抗争集中取締本部」を設置し、徹底した取締りや情報収集活動、事業者、自治体等による暴力団排除活動を積極的に支援した。

第3 交通死亡事故の徹底防止

平成28年中、人身交通事故の発生件数、負傷者数はともに昭和43年以降、最少であったが、交通事故死者数は49人で、そのうち高齢者が約8割を占め、高齢運転者が当事者となる死亡事故が大幅に増加した。

県警察では、高齢者の事故防止対策を最重要課題と位置づけ、関係機関・団体等との連携を一層強化し、高齢者の心に届く情報発信や分かりやすい交通安全施設の整備、シルバードライバー自己診断講習等体験型の運転者教育を実施したほか、運転に不安を有する高齢者等が免許証を返納しやすい環境の整備に向けた取組を進めた。

また、飲酒運転等重大事故に直結する悪質かつ危険性の高い違反に重点を置いた指導取締りを強化した。

第4 大規模災害等への徹底対処

今後発生が懸念される南海トラフ地震等大規模災害に対しては、迅速かつ的確な初動対応がとれるよう、最新の被害想定を勘案し、活動拠点の整備・機能強化を計画的に進めるとともに、初動対応訓練や装備資機材の習熟訓練等を繰り返し行い、救出・救助などの対処能力の向上と自治体や防災関係機関等との連携強化を図った。

また、自然災害だけでなく、テロ等の事態を想定した訓練を重ねるとともに、消防、自衛隊、海上保安庁等の関係機関と連携し、緊急事態への対処能力の向上に努めた。

第5 組織基盤の徹底強化

県警察では、若手警察官の早期戦力化と実務能力向上を図るため、ベテラン警察官によるマンツーマン指導や専門的知識・技能の伝承教養、ロールプレイング方式による実戦的な事案対応訓練を実施するなどの諸施策を推進した。

また、治安情勢の変化等に的確に対応するため、今後の組織の在り方や、これに密接に関連する警察施設の整備等を内容とする「警察署再編整備等総合計画」を策定したほか、「高齢者の心に届く情報発信プロジェクトチーム」を創設し、ラッピングバスを活用した移動・訪問型の情報発信活動を開始した。

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

事業名	事業内容及び成果
新防災センター（徳島東署）施設整備PFIアドバイザー事業	治安・防災の新中核拠点となる徳島東警察署を核とした新防災センターを整備するため、民間資金・活力の導入に向けた手続きを着実に推進した。 (11,524)
県警ヘリコプターテレビシステム地上設備機能強化事業	南海トラフ巨大地震等の大規模災害発生時における治安対策及び災害対策をはじめとするあらゆる警察活動に的確に対応するため、ヘリコプターテレビシステムの地上設備を更新した。 (179,999)
特殊詐欺抑止コールセンター事業	特殊詐欺の被害を防止するため、高齢者等に対して個別架電による注意喚起を行うなど、効果的な被害抑止対策を推進した。 (3,229)
警察施設長寿命化推進事業	「徳島県公共施設等総合管理計画」を推進するため、警察施設の長寿命化などを内容とする「個別施設計画」の策定に向け、施設の現況調査や保全台帳の整備を推進した。 (7,571)
警察施設防災機能強化事業	南海トラフ巨大地震等に備えるため、防災拠点となる警察本部庁舎、鳴門警察署の電源確保対策、浸水対策などを実施するとともに、新たに徳島北警察署、小松島警察署及び阿南警察署に対する防災機能強化可能性調査を実施した。 (186,974)
警察署庁舎耐震改修整備事業	防災拠点となる警察署庁舎の耐震改修整備事業として、美馬警察署庁舎耐震改修工事を完了したほか、美馬警察署つるぎ庁舎耐震改修工事を着工した。 (298,472)
交番・駐在所等整備事業	地域防犯力の向上と活動拠点の強化のため、阿南警察署羽ノ浦町交番の建て替え工事並びに阿波吉野川警察署鴨島町飯尾駐在所、美馬警察署美馬町喜来駐在所及び三好警察署東みよし町加茂駐在所のリフォーム工事を実施するとともに、財政負担の軽減や民間資金・活力の導入に向けた整備手法を検討した。 (86,743)
交通安全施設整備事業	安全で快適な交通環境を確保するため、交通安全施設の計画的な更新と、道路の新設・改良等に伴う交通信号機、道路標識等の整備を行い、交通の安全と円滑化を図った。 (661,785)

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不納欠損額	収入未済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
警 察 本 部	2,912,615,000	2,796,693,822	2,795,109,822	483,000	1,101,000	△117,505,178

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
警 察 本 部	21,621,910,000	21,258,561,420	79,205,000	284,143,580	363,348,580